

参考資料

<目次>	ページ
1. 人口構成	11
2. 国保被保険者構成	11
3. 平均寿命・健康寿命	11
4. 死因等	11
5. 標準化死亡比	12
6. 医療費の状況	13~17
7. 介護保険の状況	18~20
8. 特定健診・保健指導受診状況	21
9. がん検診受診状況	22~26

II 現状分析（保険者の特性）

1. 人口構成（H29年度）

*KDBから引用

	日野町	同規模	県	国
総数（人）	3,278	2,628	569,078	125,640,987
40歳未満（%）	23.2	29.1	37.6	39.7
40～64歳（%）	29.8	32.6	32.7	33.7
65～74歳（%）	18.4	16.0	13.9	13.8
75歳以上（%）	28.6	22.3	15.8	12.8

・同規模自治体と比べて、65～74歳及び75歳以上の割合が高い。

2. 国民健康保険被保険者構成（H29年度）

*KDBから引用

	日野町	同規模	県	国
総数（人）	731	782	125,821	31,587,591
40歳未満（%）	12.3	22.6	21.2	27.5
40～64歳（%）	26.8	35.2	31.8	33.1
65～74歳（%）	60.9	42.2	47.1	39.4

・同規模自治体と比べて、65歳以上の割合が高い。

3. 平均寿命・健康寿命（H29年度）

*KDBから引用

（単位：歳）

	日野町	同規模	県	国
平均寿命 男性	78.3	79.4	79.0	79.6
平均寿命 女性	86.1	86.5	86.1	86.4
健康寿命 男性	64.6	65.1	64.9	65.2
健康寿命 女性	65.9	66.6	66.3	66.8

・不健康期間が男性13.7年、女性は20.2年ある。

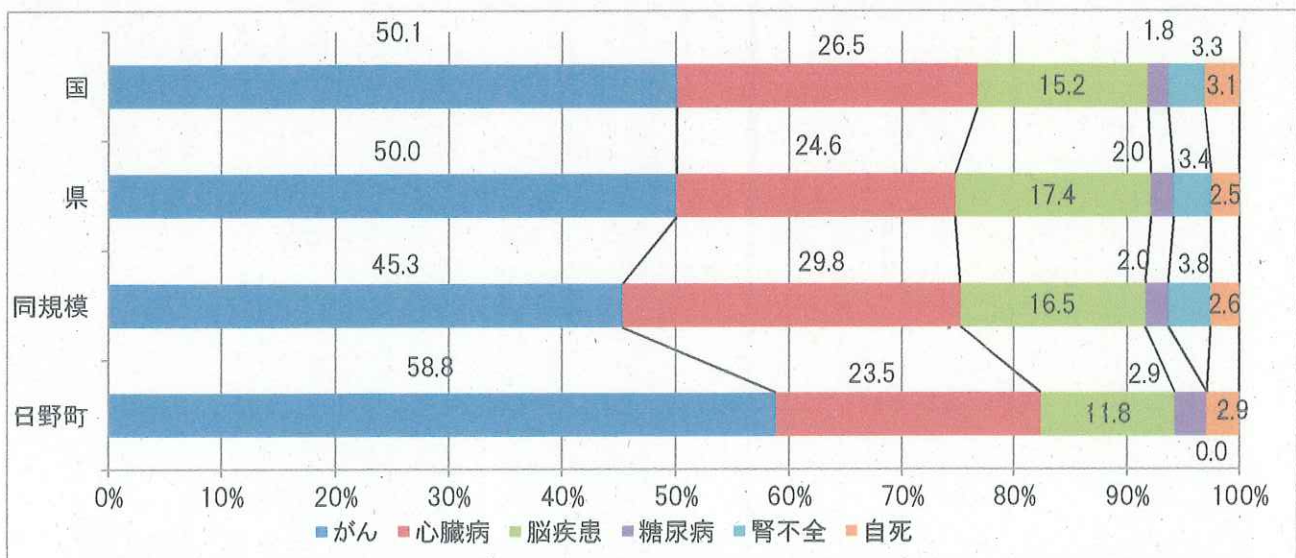
※要支援1以上を健康でないとして定義している。

4. 死因等（H29年度）

*KDBから引用

（単位：%）

	日野町	同規模	県	国
がん	58.8	45.3	50.0	50.1
心臓病	23.5	29.8	24.6	26.5
脳疾患	11.8	16.5	17.4	15.2
糖尿病	2.9	2.0	2.0	1.8
腎不全	0.0	3.8	3.4	3.3
自死	2.9	2.6	2.5	3.1

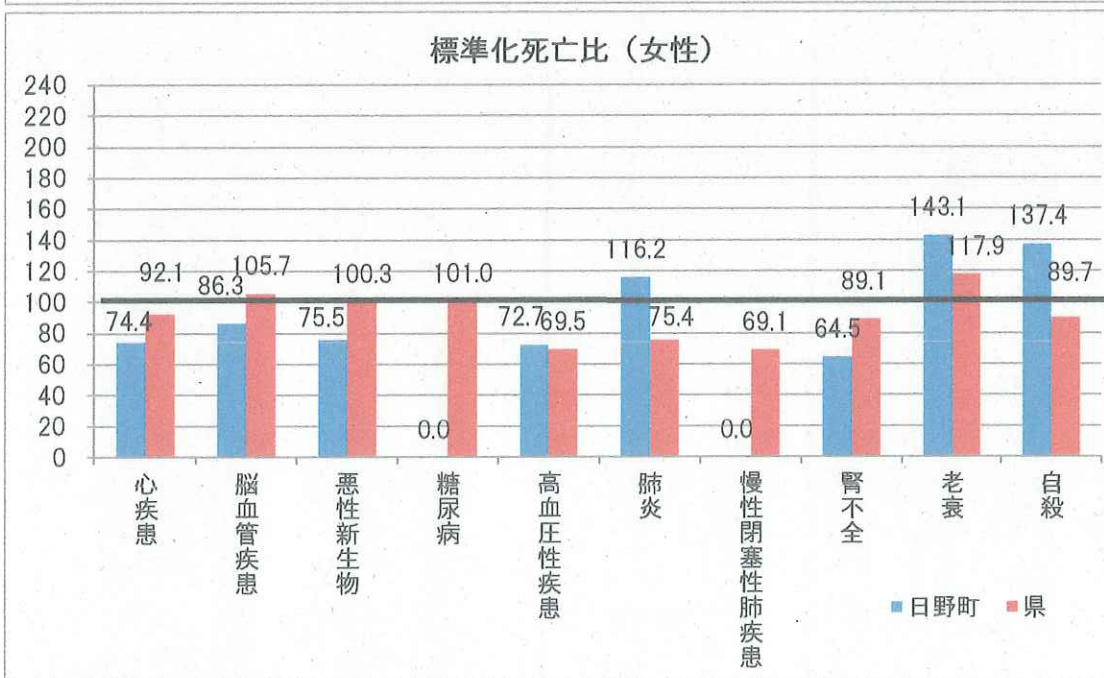
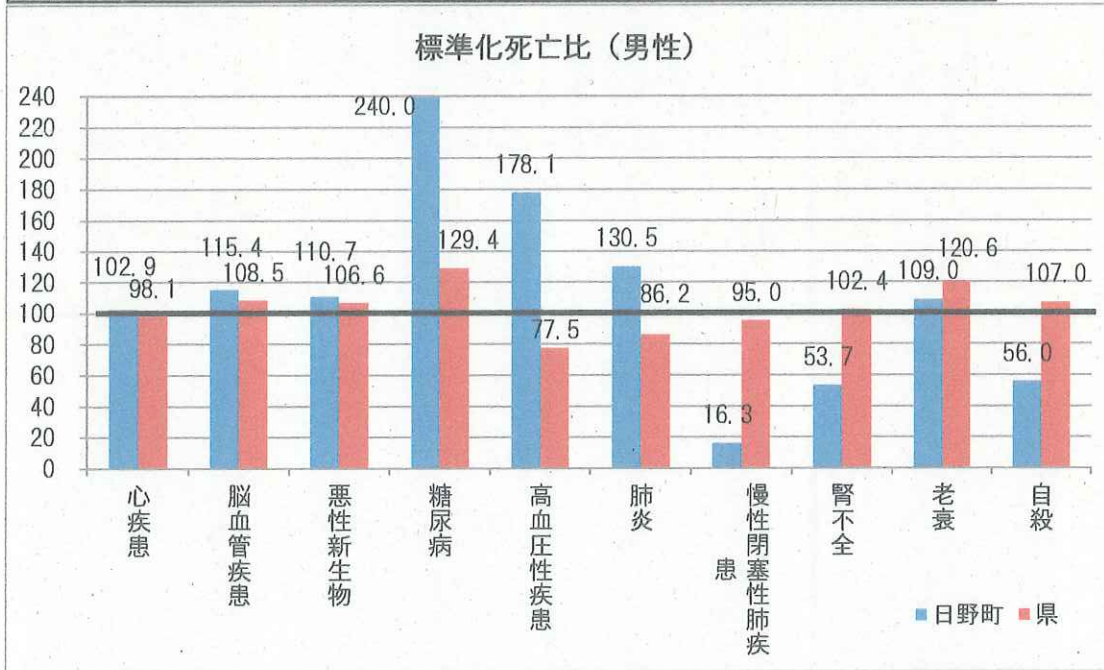


・同規模の自治体と比べて、がん・糖尿病で死亡する人の割合が高く、心臓病・脳疾患で死亡する人の割合は低い。

5. 標準化死亡比 (H21～28年累計)

*H21～28年人口動態統計から引用

	日野町		県	
	男性	女性	男性	女性
心疾患	102.9	74.4	98.1	92.1
脳血管疾患	115.4	86.3	108.5	105.7
悪性新生物	110.7	75.5	106.6	100.3
糖尿病	240.0	0.0	129.4	101.0
高血圧性疾患	178.1	72.7	77.5	69.5
肺炎	130.5	116.2	86.2	75.4
慢性閉塞性肺疾患	16.3	0.0	95.0	69.1
腎不全	53.7	64.5	102.4	89.1
老衰	109.0	143.1	120.6	117.9
自殺	56.0	137.4	107.0	89.7



・男性の高血圧性疾患、糖尿病が特に高い。

※標準化死亡比・・・人口構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標。
全国平均を100として比較する。

6. 医療

①全般（H29年度）

*KDBから引用

	日野町	同規模	県	国
千人当たり 病院数	1.4	0.3	0.4	0.3
診療所数	2.7	3.2	4.0	3.1
病床数	135.4	21.4	69.2	48.7
医師数	12.3	2.9	14.2	9.6
外来患者数	654.9	660.5	697.4	676.1
入院患者数	21.2	24.1	22.8	18.5
受診率（人／千人）	676,118	684,623	720,209	694,578
1件あたり医療費（円）	44,410	40,440	39,290	36,040

<外来>

*KDBから引用

	日野町	同規模	県	国
費用の割合	58.7	55.3	55.3	59.9
受診率（人／千人）	654,907	660,478	697,442	676,060
1件あたり医療費（円）	26,930	23,180	22,460	22,170
1人あたり医療費（円）	17,640	15,310	15,660	14,990
1日あたり医療費（円）	19,110	16,310	14,810	14,280
1件あたり回数	1.4	1.4	1.5	1.6

<入院>

*KDBから引用

	日野町	同規模	県	国
費用の割合	41.3	44.7	44.7	40.1
入院率（人／千人）	21,211	24,145	22,767	18,519
1件あたり医療費（円）	583,980	512,480	555,020	542,190
1人あたり医療費（円）	12,390	12,370	12,640	10,040
1日あたり医療費（円）	36,580	31,350	33,210	34,630
1件あたり回数	16.0	16.3	16.7	15.7

<歯科>

*KDBから引用

	日野町	同規模	県	国
受診率（人／千人）	121,991	120,756	144,954	149,220
1件あたり医療費（円）	13,820	14,300	13,020	12,850
1人あたり医療費（円）	1,690	1,730	1,890	1,920
1日あたり医療費（円）	7,570	7,360	7,070	6,930
1件あたり回数	1.8	1.9	1.8	1.9

- ・1件あたり医療費は、外来、入院ともに同規模自治体より高いが、1人あたりの医療費には大きな差がない。

*KDBから引用

②医療費の状況（入院・外来）※抜粋（H27～29年度）

（単位：円/年）

男性	入院			外来		
	H27	H28	H29	H27	H28	H29
糖尿病	213,160	2,348,490	694,840	7,681,320	9,519,310	11,573,900
高血圧症	239,590	100,330	100,300	7,031,080	6,879,670	5,346,400
脂質異常症	0	0	0	3,789,740	3,401,260	2,480,170
高尿酸血症	0	0	0	528,260	280,090	375,000
脂肪肝	0	0	0	269,590	119,940	82,930
動脈硬化	0	193,920	0	993,140	303,450	121,070
脳出血	1,326,850	0	688,670	0	0	0
脳梗塞	7,649,190	1,019,020	3,126,100	1,040,420	772,330	333,870
狭心症	188,710	225,410	183,420	2,198,460	1,408,040	1,538,640
心筋梗塞	0	599,980	842,090	0	84,490	135,600
がん	25,715,180	14,065,150	15,236,330	7,939,160	10,728,790	18,149,240
筋・骨格	6,392,930	2,430,260	5,340,550	5,510,620	5,015,400	4,428,110
精神	583,180	1,940,200	7,032,170	6,326,920	5,245,570	4,046,610
女性	入院			外来		
	H27	H28	H29	H27	H28	H29
糖尿病	408,780	2,713,460	637,530	7,480,980	8,239,450	7,163,660
高血圧症	57,850	216,630	0	6,898,750	6,286,070	5,955,650
脂質異常症	0	0	829,750	6,133,140	5,413,420	4,698,250
高尿酸血症	0	0	102,090	0	0	0
脂肪肝	0	0	0	87,420	23,350	60,810
動脈硬化	0	0	0	337,490	35,360	71,880
脳出血	0	0	0	74,920	38,000	0
脳梗塞	1,640,120	10,320,650	0	668,600	541,440	444,940
狭心症	0	4,007,720	1,101,630	112,730	98,400	201,980
心筋梗塞	0	1,270,080	0	0	0	0
がん	7,181,180	80,029,800	19,986,830	7,785,320	5,608,000	3,323,730
筋・骨格	2,635,050	37,112,090	4,500,780	15,772,890	13,398,130	13,312,180
精神	4,706,450	62,407,360	1,238,110	5,626,230	5,727,270	4,611,680

・男女、入院外来とものがんの医療費が最も高い。

・外来では、男性は糖尿病、女性は筋・骨格系疾患の医療費が高い。

※ここでは「主病」の医療費でなく、「最大医療資源」の医療費となり、
1つのレセプトの中で最も高額な医療費を要した疾病を用いることとなっている。

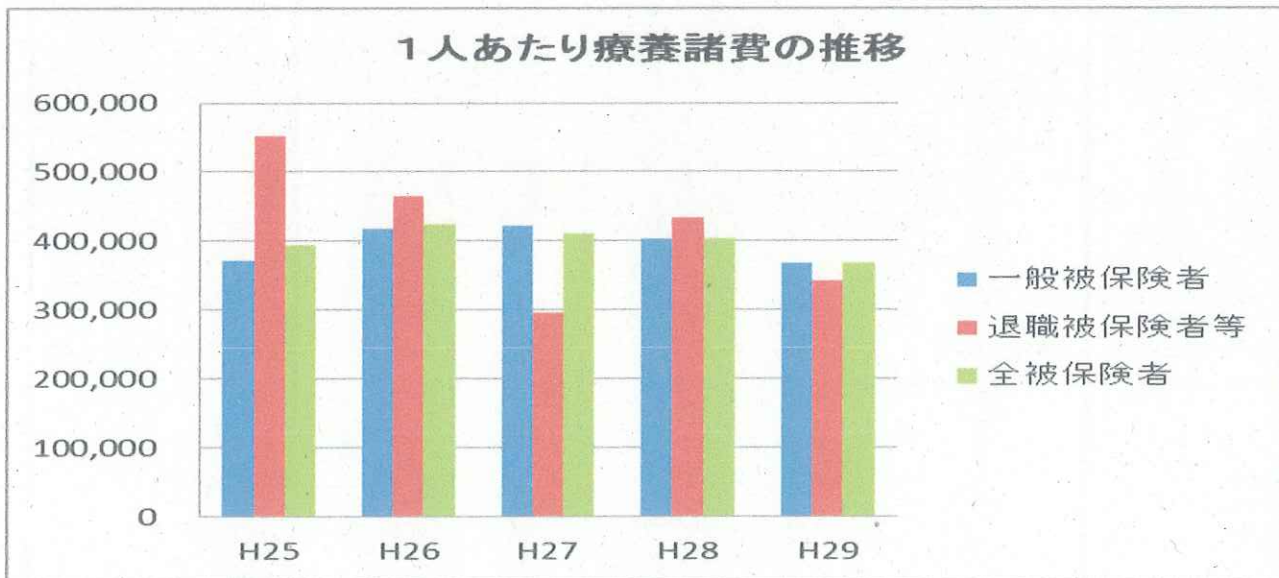
③医療費の推移 (H25～29年度)

*KDB から引用

療養諸費の推移

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
一般被保険者	被保険者数(平均、人)	753	762	758	761	731
	療養諸費(円)	280,060,253	318,678,095	319,577,306	306,478,077	269,449,938
	1人当たりの療養諸費(円)	371,926	418,213	421,606	402,731	368,605
	増加率(%)	0.28%	12.45%	0.81%	-4.48%	-8.47%
退職被保険者等	被保険者数(平均、人)	106	87	67	41	20
	療養諸費(円)	58,408,400	40,451,374	19,812,276	17,783,608	6,831,479
	1人当たりの療養諸費(円)	551,023	464,958	295,706	433,747	341,574
	増加率(%)	95.10%	-15.62%	-36.40%	46.68%	-21.25%
全被保険者	被保険者数(平均、人)	859	849	825	802	751
	療養諸費(円)	338,468,653	359,129,469	339,389,582	324,261,685	276,281,417
	1人当たりの療養諸費(円)	394,026	423,003	411,381	404,316	367,885
	増加率(%)	9.22%	7.35%	-2.75%	-1.72%	-9.01%

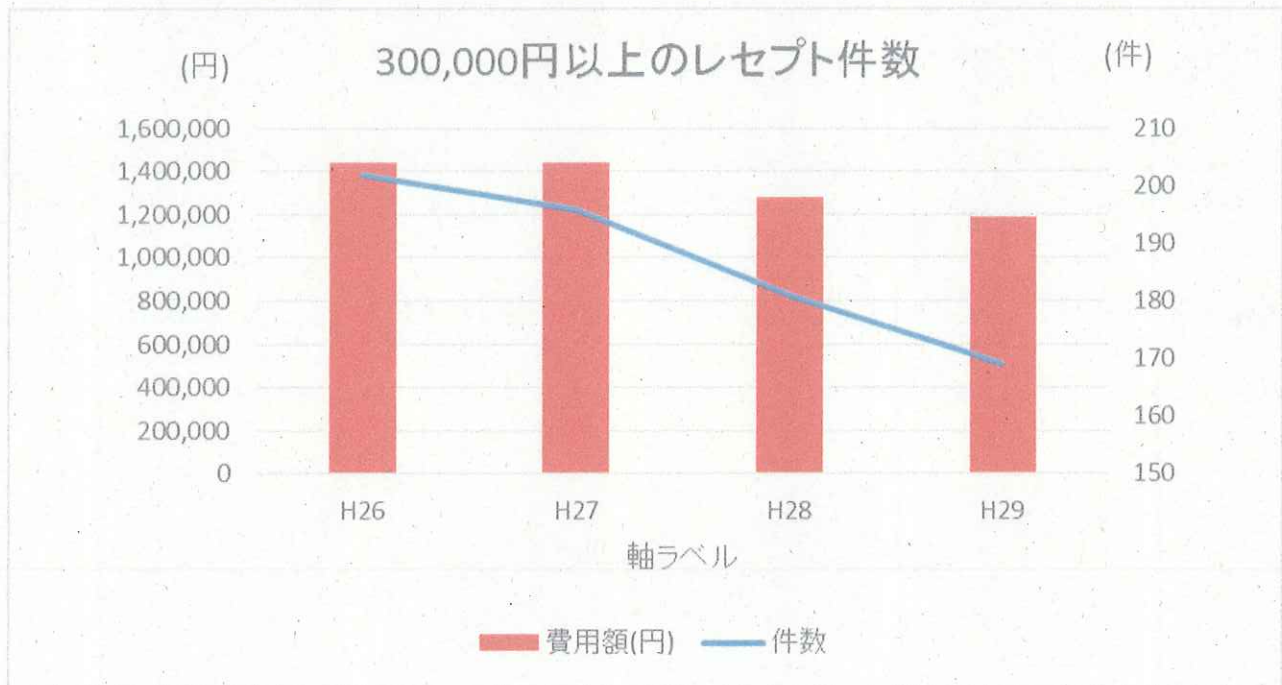
※療養諸費・・・療養の給付、入院時食事療養費・入院時生活療養費、訪問看護療養費、療養費、移送費の総称であり、国保における総医療費を意味する。



・1人あたり療養諸費は、平成26年度以降減少している。

④高額な医療費件数の推移 (H26～29年度)

*KDB から引用



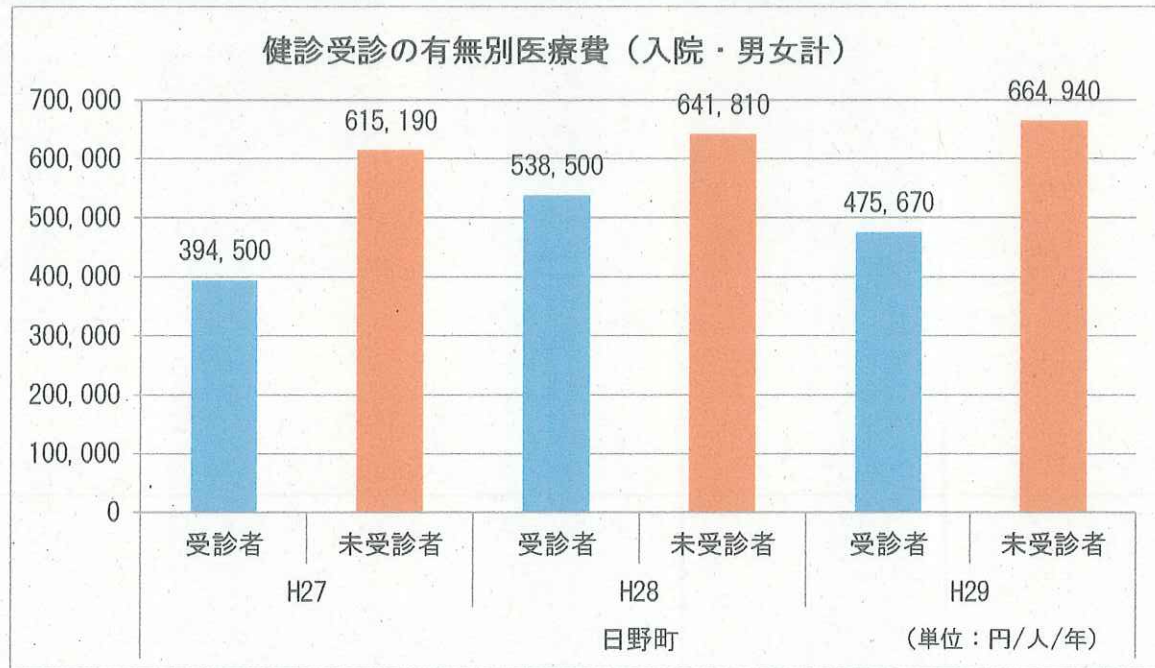
基準額以上のレセプト(基準額 300,000円)				
	H26	H27	H28	H29
件数	202	196	181	169
費用額(円)	144,175,580	143,874,130	127,779,130	119,042,800
増減率(%)		-0.21%	-11.19%	-6.84%

・1件当たりの費用額が300,000円以上の高額なレセプトは、平成26年度以降、減少している。現在、日野町の国保の被保険者で人工透析の治療を受けている人はいない。人工透析は年間1人あたり400万円程度の医療費がかかるため、1人でも透析が必要となれば、医療費が大きく上昇する。

⑤特定健診受診の有無による医療費の比較 (H27～29年度)

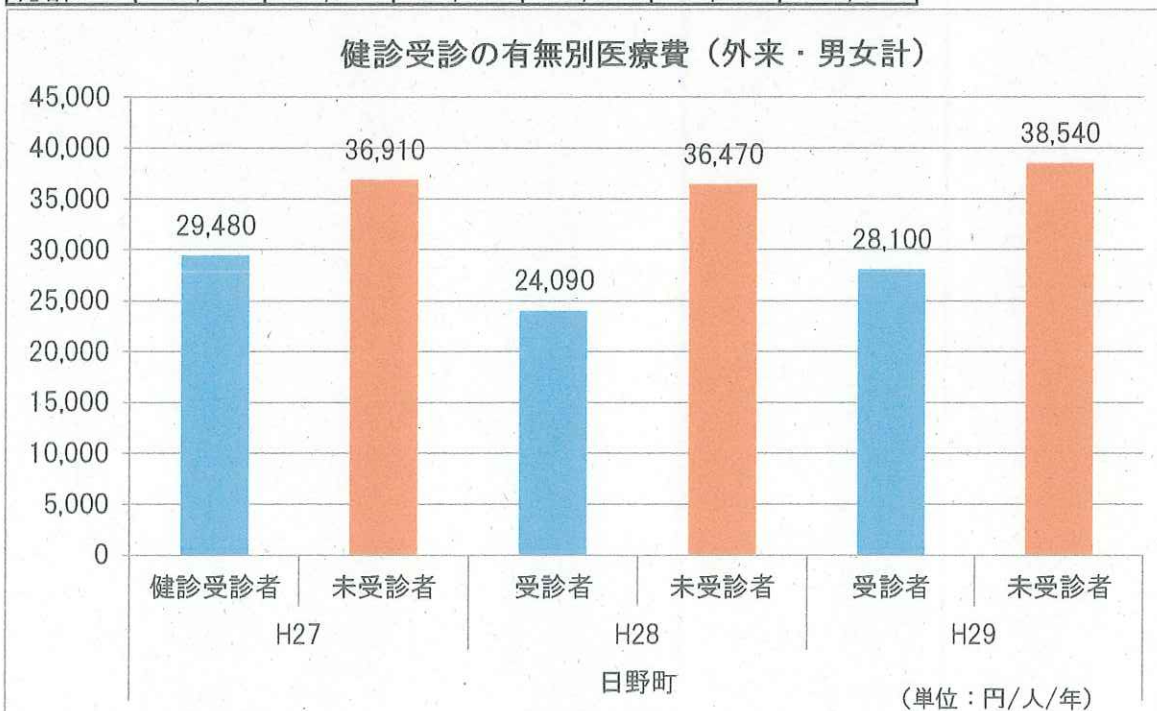
*KDBから引用

入院	日野町					
	H27		H28		H29	
	受診者	未受診者	受診者	未受診者	受診者	未受診者
男性	528,690	598,860	295,380	640,570	519,880	575,090
女性	215,580	651,860	727,600	644,030	414,870	803,790
総計	394,500	615,190	538,500	641,810	475,670	664,940



*KDBから引用

外来	日野町					
	H27		H28		H29	
	受診者	未受診者	受診者	未受診者	受診者	未受診者
男性	25,210	37,740	22,310	39,510	32,860	45,810
女性	31,810	36,050	25,310	33,260	25,450	30,780
総計	29,480	36,910	24,090	36,470	28,100	38,540

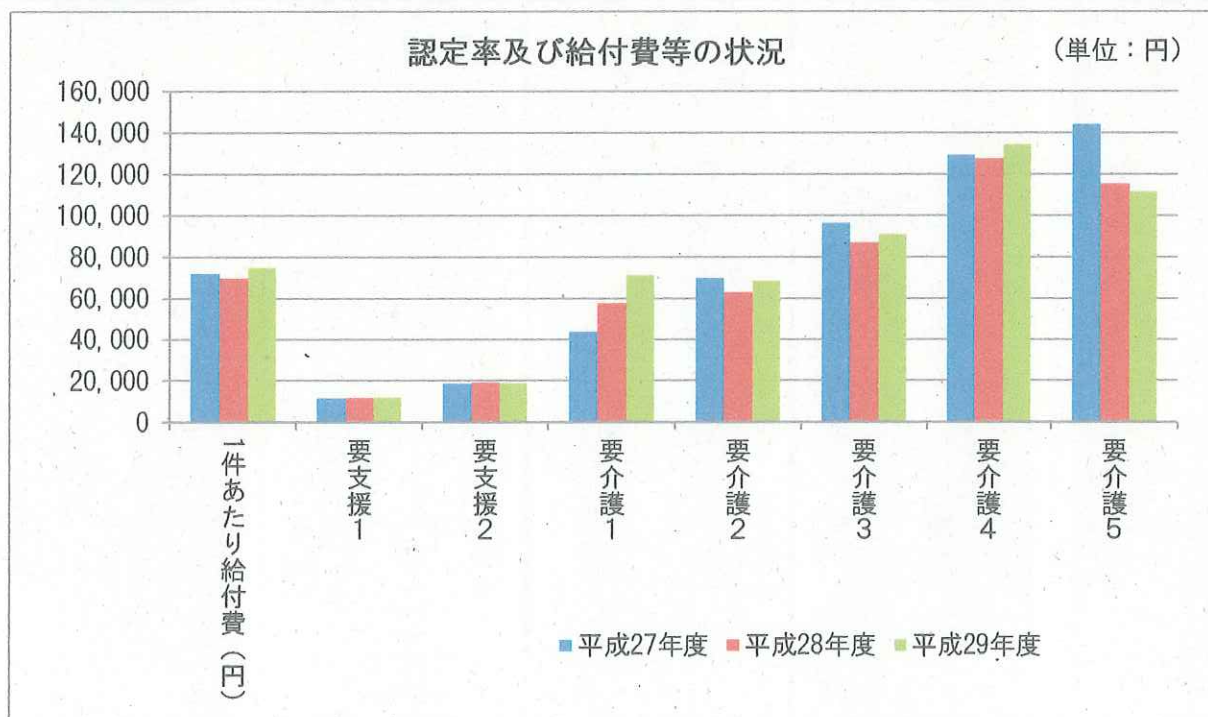


7. 介護保険の状況

①認定率及び給付費等の状況（H27～29年度）

*KDBから引用

	日野町		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1号認定率（％）	21.0	21.5	21.5
1件あたり給付費（円）	72,218	69,734	75,091
要支援1	11,858	11,980	12,107
要支援2	18,767	19,176	18,927
要介護1	44,148	57,343	71,138
要介護2	69,906	62,695	68,497
要介護3	96,329	86,947	90,733
要介護4	129,064	127,274	134,226
要介護5	144,274	115,275	111,608
2号認定率（％）	0.5	0.3	0.5
新規認定率（％）	0.3	0.3	0.4

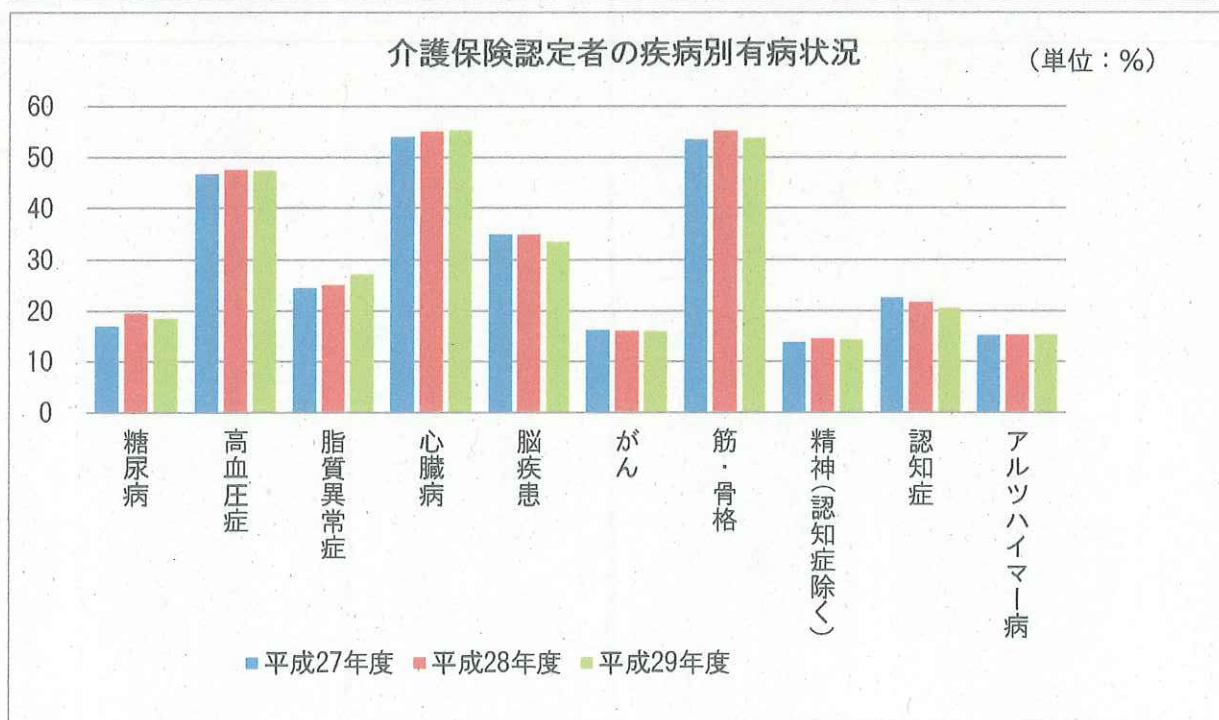


- ・認定率は1号、2号、新規とも、横ばいである。
- ・介護度の内訳をみると、要介護1が増加し、要介護5が減少している。

②要介護・要支援認定者の疾病別有病状況（H27～29年度）

*KDBから引用

	日野町 (単位：%)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
糖尿病	17.0	19.5	18.5
高血圧症	46.7	47.6	47.4
脂質異常症	24.5	25.1	27.1
心臓病	54.1	55.0	55.3
脳疾患	35.0	34.8	33.5
がん	16.2	16.0	16.0
筋・骨格	53.6	55.2	53.8
精神(認知症除く)	13.9	14.5	14.4
認知症	22.7	21.6	20.5
アルツハイマー病	15.3	15.2	15.4



・疾病の種類とその割合は大きく変化していない。

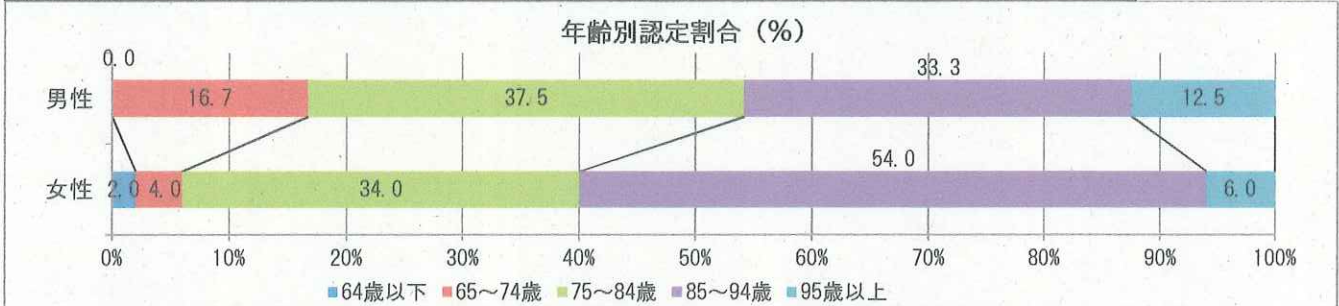
③新規申請内訳(平成29年度)

- ・H29年度の新規申請74件のうち、男性24件(32.4%)女性50件(67.6%)であり、女性が男性の約2倍となっている。
- ・年齢別、介護度別、疾病別の内訳は以下のとおりである。

(年齢別認定割合)

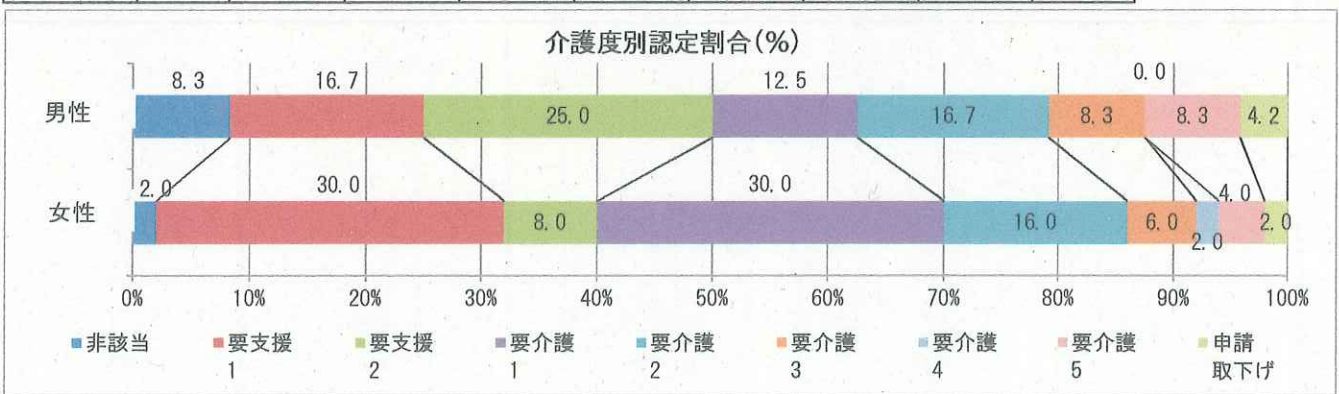
*介護認定申請書・意見書から引用

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～
男(%)	0.0	16.7	0.0	16.7	20.8	8.3	25.0	8.3	4.2
女(%)	2.0	0.0	4.0	10.0	24.0	32.0	22.0	6.0	0.0
合計(%)	1.4	5.4	2.7	12.2	23.0	24.3	23.0	6.8	1.4



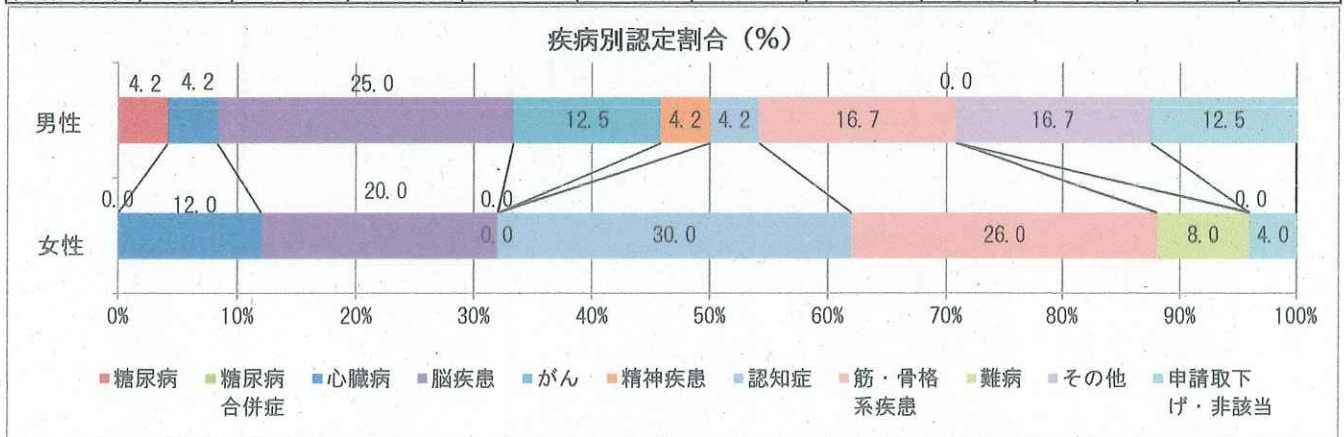
- ・男女を比較すると、男性は65～74歳と95歳以上の認定が多く、女性は85～94歳の認定が多い。
- (介護度別件数)

	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請取下げ
男(%)	8.3	16.7	25.0	12.5	16.7	8.3	0.0	8.3	4.2
女(%)	2.0	30.0	8.0	30.0	16.0	6.0	2.0	4.0	2.0
合計(%)	4.1	25.7	13.5	24.3	16.2	6.8	1.4	5.4	2.7



- ・女性の新規認定は要支援1が30%を占めている。(住宅改修等)

	糖尿病	糖尿病合併症	心臓病	脳疾患	がん	精神疾患	認知症	筋・骨格系疾患	難病	その他	申請取下げ・非該当
男(%)	4.2	0.0	4.2	25.0	12.5	4.2	4.2	16.7	0.0	16.7	12.5
女(%)	0.0	0.0	12.0	20.0	0.0	0.0	30.0	26.0	8.0	0.0	4.0
合計(%)	1.4	0.0	9.5	21.6	4.1	1.4	21.6	23.0	5.4	5.4	6.8



- ・男女を比較すると、女性では認知症、筋・骨格系疾患が多い。男性はがんが多い。
- ・男性ではその他にあたるものが多い。その他には呼吸器系疾患などが含まれる。

8. 特定健康診査及び特定保健指導

①特定健康診査・特定保健指導の受診状況(H25～29年度)

*「日野町特定健診等実施計画」から引用

区分		H25	H26	H27	H28	H29		
特定健康診査	対象者	691	671	664	633	617		
	受診者	187	187	156	176	167		
	受診率	実績	27.1%	27.9%	23.5%	27.8%	27.1%	
		目標	36.0%	42.0%	48.0%	54.0%	60.0%	
特定保健指導	動機付け支援	対象者	11	9	4	7	8	
		実施者	1	1	0	2	0	
	積極的支援	対象者	3	4	2	4	2	
		実施者	0	0	0	0	0	
	合計	対象者	14	13	6	11	10	
		実施者	1	1	0	2	2	
		受診率	実績	7.1%	7.7%	0.0%	18.2%	20.0%
			目標	18.9%	30.2%	40.0%	50.0%	60.0%

- ・特定健診受診率は、目標を大きく下回り続けている。
- ・特定保健指導実施率は、目標を下回り続けている状態であるが、近年少しずつ上昇している。

②特定健診受診者の状況(H29年度)

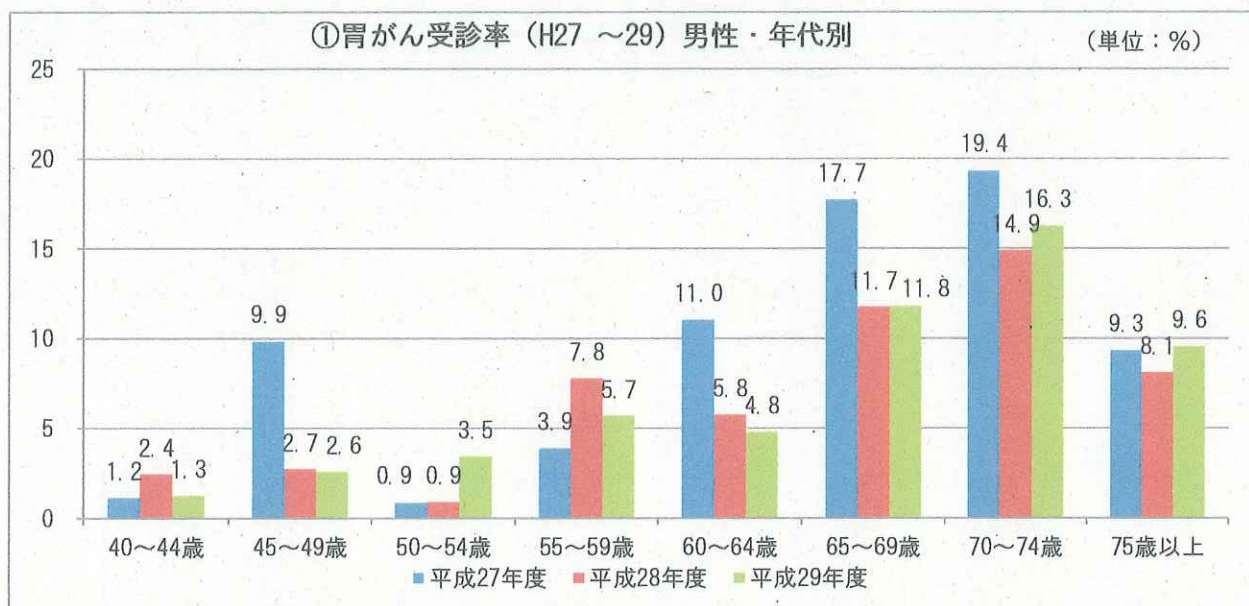
*KDBから引用

	日野町	同規模	県	国
初回受診者率	13.5	9.8	13.8	14.4
受診勧奨者非受診率	7.6	5.2	3.6	4.8
未治療率	10.5	3.7	6.6	4.8

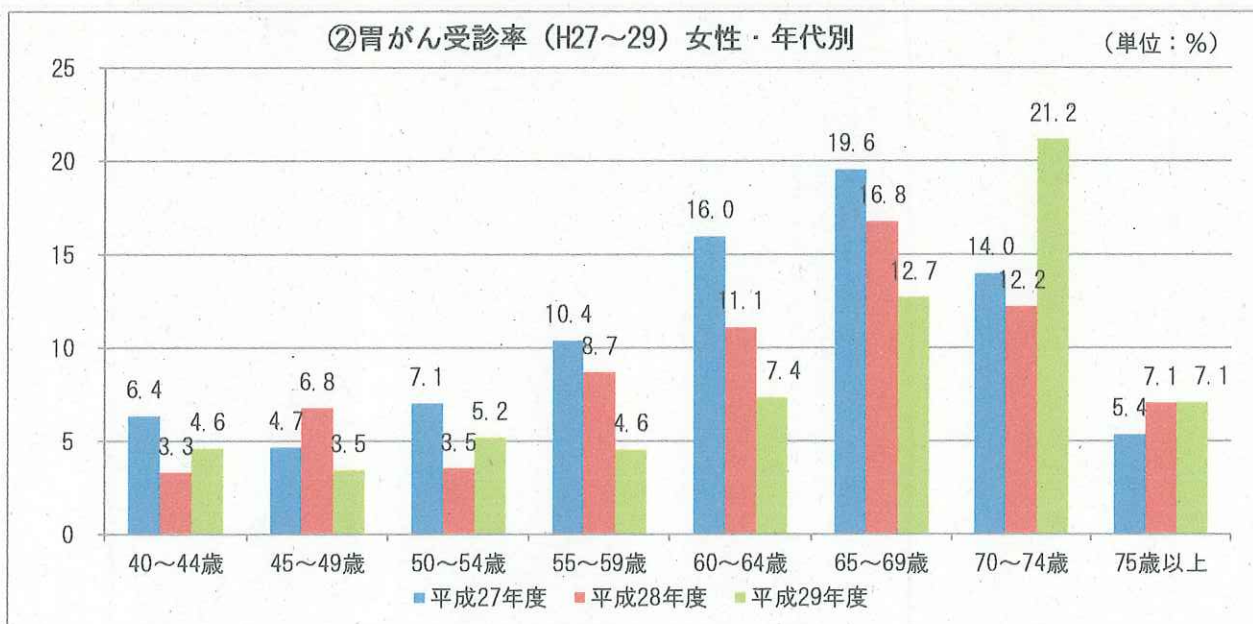
- ・特定健診初回受診者（前年度未受診者）の割合は同規模に比べ、高い。
- ・受診勧奨者非受診率、未治療率は同規模、県、国と比べ、高い。

9. がん検診受診状況 (H27～29年度)

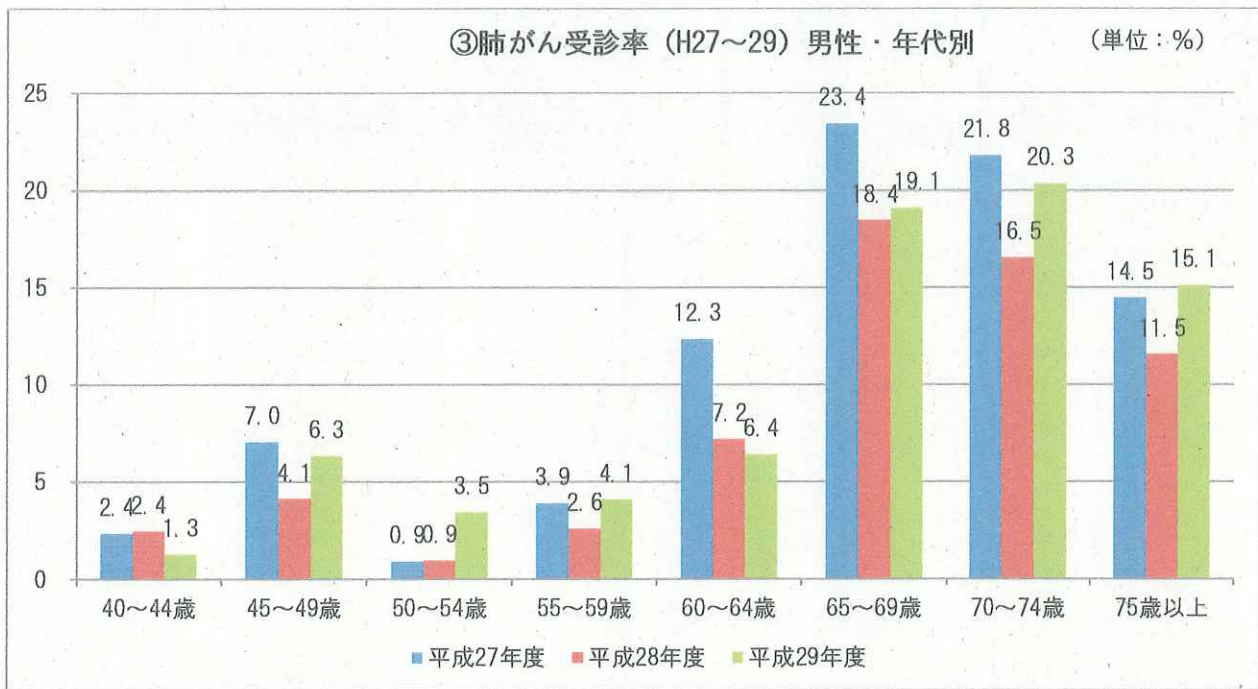
※がん検診受診率には、人間ドック、職場での受診などは含まない。



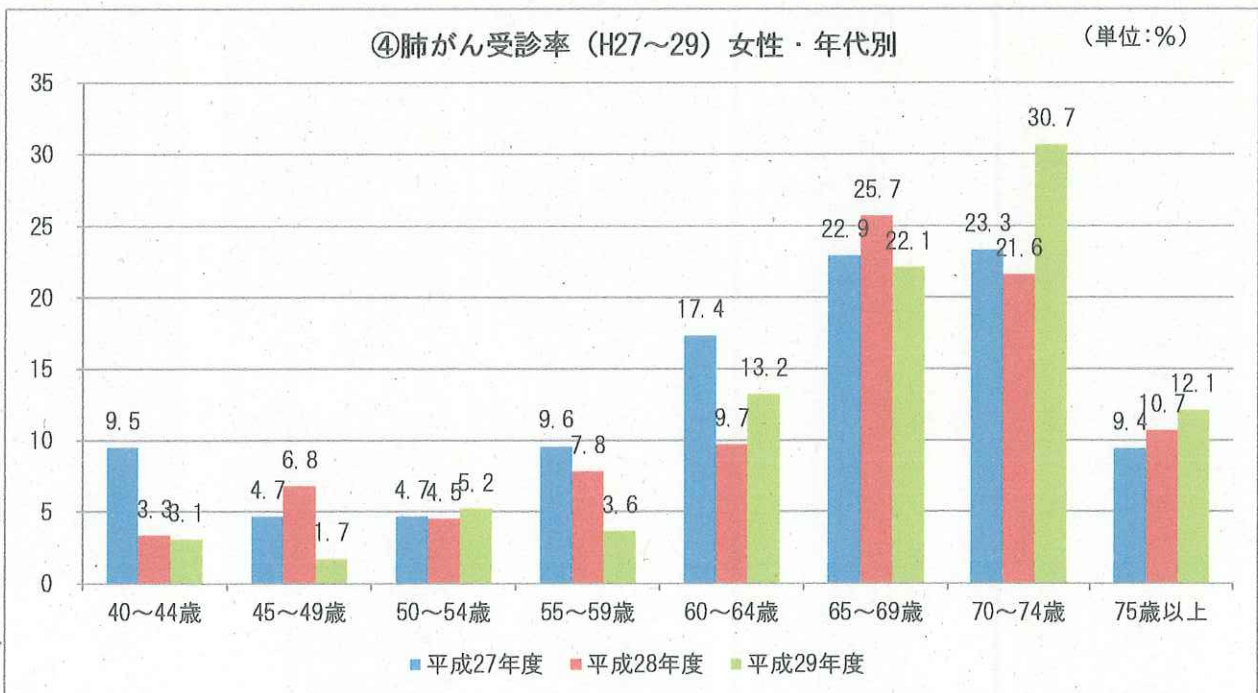
- ・70歳～74歳の受診率が最も高い。
- ・働き盛り世代の40～64歳は6%以下と低い。



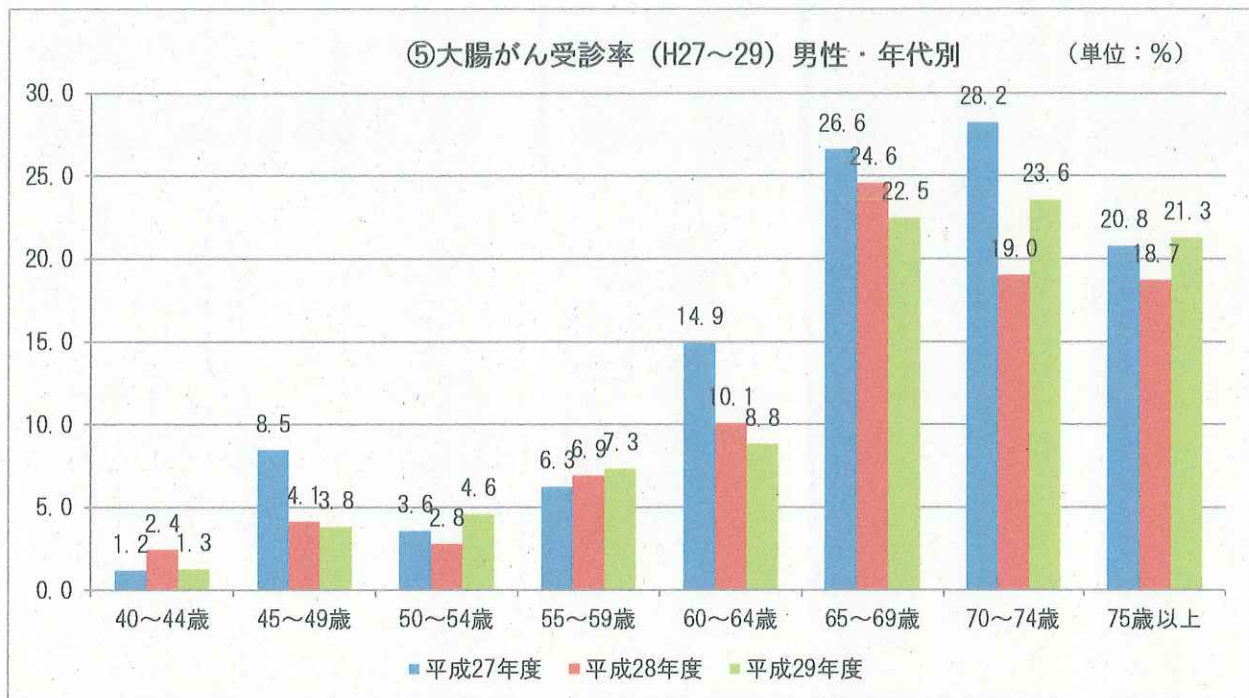
- ・女性の胃がん受診率は65～69歳、70歳～74歳が高い。
- ・働き盛り世代の40～64歳は8%以下と低い。



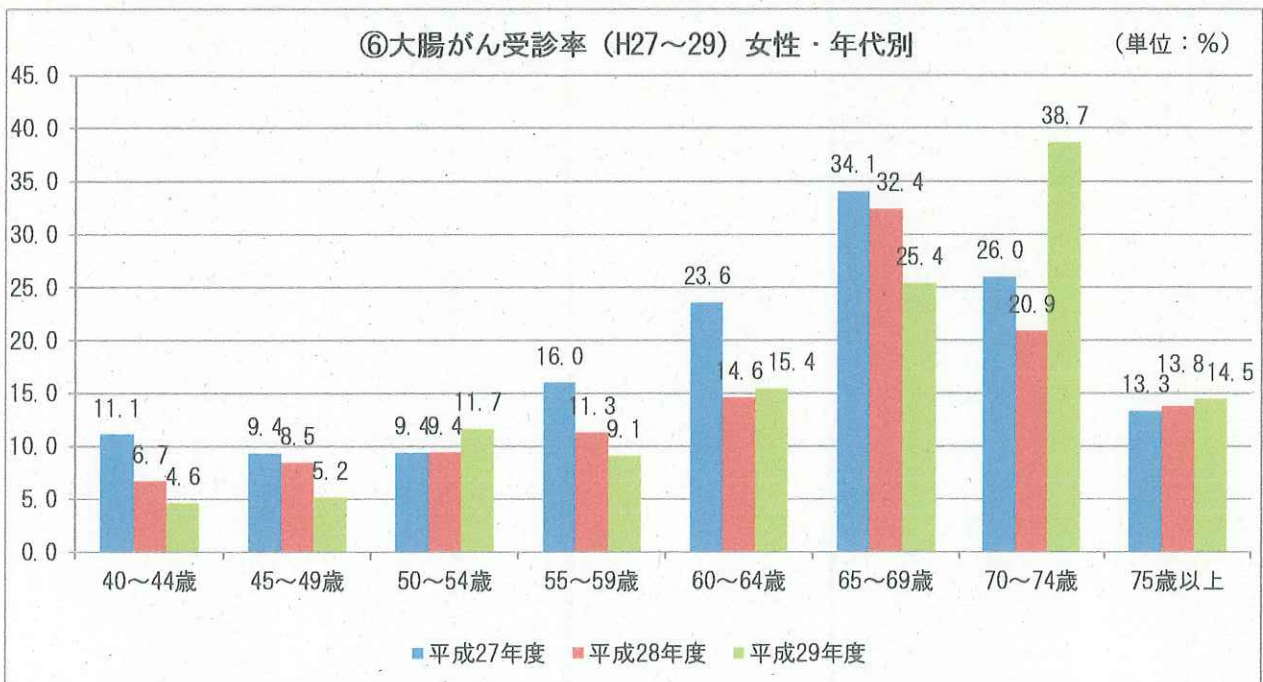
- ・ 65歳以上の受診率が高い。
- ・ 働き盛り世代の40~64歳は7%以下と低い。事業所で検診を受ける機会があるためであ



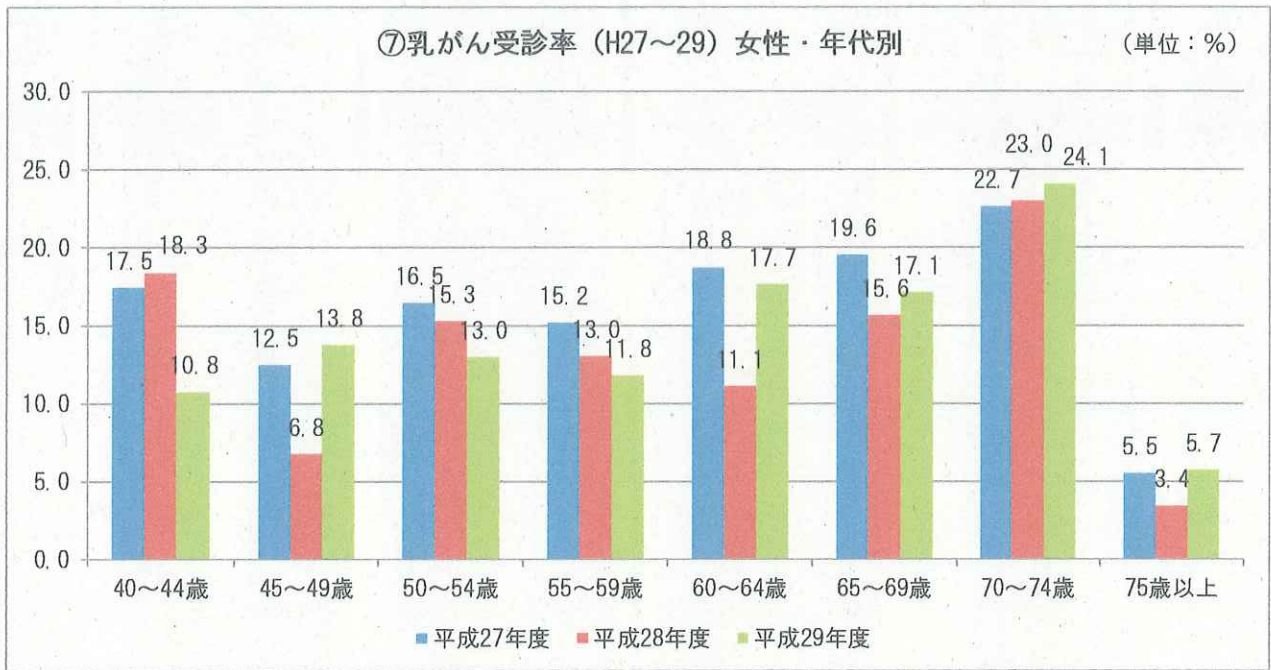
- ・ 65~69歳、70~74歳の受診率が高い。
- ・ 働き盛り世代の40~59歳は6%以下と低い。事業所で検診を受ける機会があるためであ



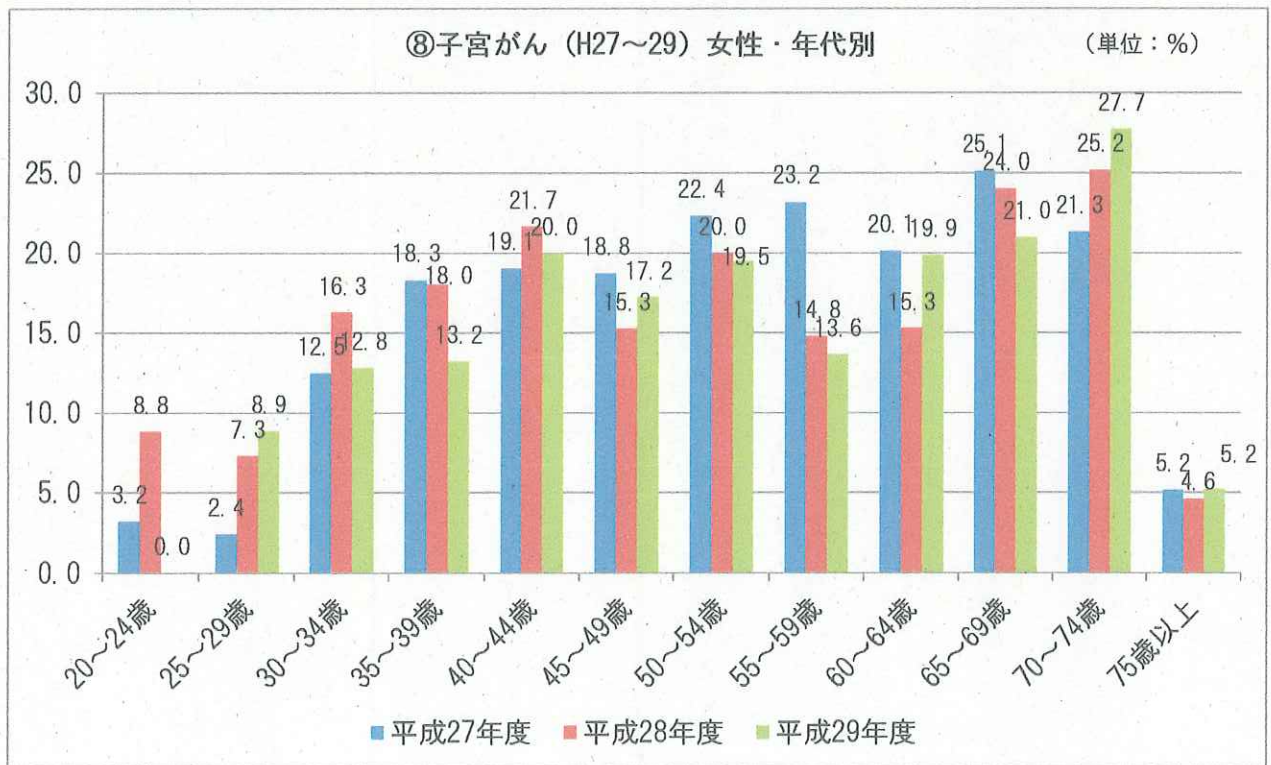
- ・ 65歳以上の受診率が高い。
- ・ 他のがんに比べ、75歳以上でも大きく受診率が下がることがない。



- ・ 65~69歳、70歳~74歳の受診率が高い。
- ・ 男性に比べ、75歳以上になると受診率が下がる傾向。



- ・70歳~74歳の受診率が高い。
- ・75歳以上では大きく低下し、全体で最も低い受診率となった。



- ・70歳~74歳の受診率が高い。
- ・75歳以上では受診率が大きく低下する。

平成29年度がん検診結果（精密検査受診率等）

	要精検率（％）		精密検査受診率（％）		がん発見率（％）		陽性反応適中度	
	日野町	国指標 「許容値」	日野町	国指標 「許容値」	日野町	国指標 「許容値」	日野町	国指標 「許容値」
胃がん検診 （X線検査）	11.2	11.0%以下	54.2	70%以上	—	0.11%以上	—	1.0%以上
子宮がん検診	—	1.4%以下	—	70%以上	—	0.05%以上	—	4.0%以上
肺がん検診	2.9	3.0%以下	88.9	70%以上	0.391	0.03%以上	11.1	1.3%以上
乳がん検診	5.0	11.0%以下	75.0	70%以上	—	0.23%以上	—	2.5%以上
大腸がん	6.0	7.0%以下	95.8	70%以上	0.504	0.13%以上	8.3	1.9%以上

- ・要精検率は、いずれのがん検診もほぼ国の許容値の範囲内であった。
- ・精密検査受診率は胃がん検診が低く、許容値以下であった。
- ・胃がん検診で要精密になった人は1人が初回受診者で他は非初回受診者だった。
- ・肺がん、大腸がんのがん発見率、陽性反応適中度は許容値以上だった。
- ・肺がん、大腸がんが発見された人は非初回受診者だった。